

米国経済・株式市場情報

ベージュブック 順調に経済成長が進んでいることを示す

雇用の改善が続く。物価上昇も続く。

- FRB（米連邦準備制度理事会）が公表した米地区連銀経済報告（ベージュブック）では、すべての地区で景気が回復していることが示される。
- 株価は堅調な推移となっているものの、物価上昇懸念により米10年国債金利が上昇基調となっていることから、ハイテク株の比率が高いナスダック総合指数の上昇が鈍い。

～ ベージュブックは景気回復を示唆 ～

- 4月14日のベージュブックにおいて12の地区連銀から管轄する地区の経済状況が報告されました。バイデン政権により米国救済計画と呼ばれる1.9兆ドル規模の追加経済対策が成立したことやワクチン接種が順調に進展していること等を受けて、全地区で経済は回復傾向となっていることが報告されています。経済成長が加速していると報告した地区もありました（図表1）。

～ 雇用は改善基調。物価高は続く見込み ～

- 今回のベージュブックでは、雇用は改善傾向、物価は上昇基調にあることが報告されました。雇用は、ほとんどの地区で改善が進んでおり、特に、製造業、建設業では賃金の上昇圧力が強いことも報告されています。物価は、多くの地区で緩やかな上昇基調であり、一部の地区ではより顕著に上昇していることが報告されました。2月の悪天候の影響等により一時的に物価上昇ペースが速まったとの見方もありますが、当面物価上昇は続くとの見通しが優勢になっています。

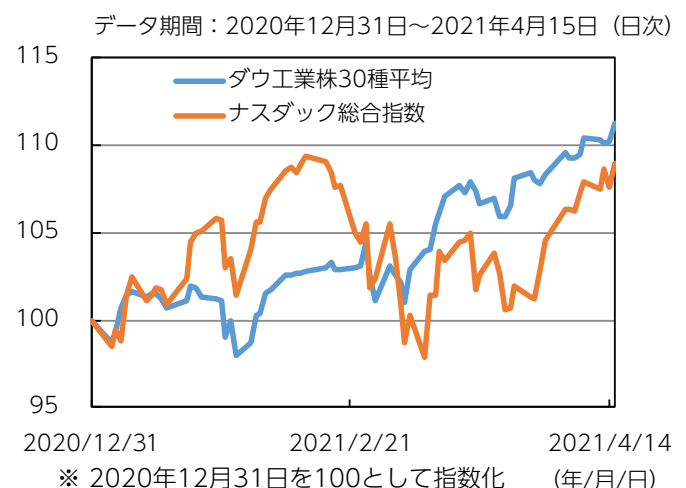
～ 金利上昇からナスダック総合指数の上昇が鈍い ～

- 3月に大型の追加経済対策が成立したことなどを受けて景気回復ペースが加速するとの期待感から、主要株価指数は堅調な推移となっています。14日の米国株式市場は、ベージュブックの結果を受けて、インフレ加速が意識され米10年国債金利が上昇したことから、ハイテク株の比重の高いナスダック総合指数は下落しました。足元の金利上昇局面では、NYダウと比較しナスダックはやや伸び悩んでいます（図表2）。FRB（米連邦準備制度理事会）が低金利の継続を表明していることから、米10年国債金利が大きく上昇（価格は下落）する可能性は低いとみられるものの、さらにインフレ懸念が高まり、長期金利が再び上昇基調を強めた場合には、ナスダック総合指数は調整する可能性もありそうです。

図表1：各地区連銀の経済報告概要（2021年4月）

連銀名	経済成長 (今回)	経済成長 (前回)
ボストン	緩やかに成長	まちまち
ニューヨーク	力強く成長	緩やかに後退
フィラデルフィア	緩やかな成長	緩やかに反発
クリーブランド	成長が加速	緩やかに成長
リッチモンド	緩やかに成長	緩やかな成長が継続
アトランタ	緩やかに成長	緩やかに成長
シカゴ	緩やかに成長	緩やかに成長
セントルイス	緩やかに成長	ほぼ横ばい
ミネアポリス	緩やかに成長	緩やかに成長
カンザスシティ	緩やかに成長	緩やかに成長
ダラス	成長が加速	緩やかに成長
サンフランシスコ	緩やかに成長	緩やかに成長

図表2：ナスダック総合指数の上昇は鈍い



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>